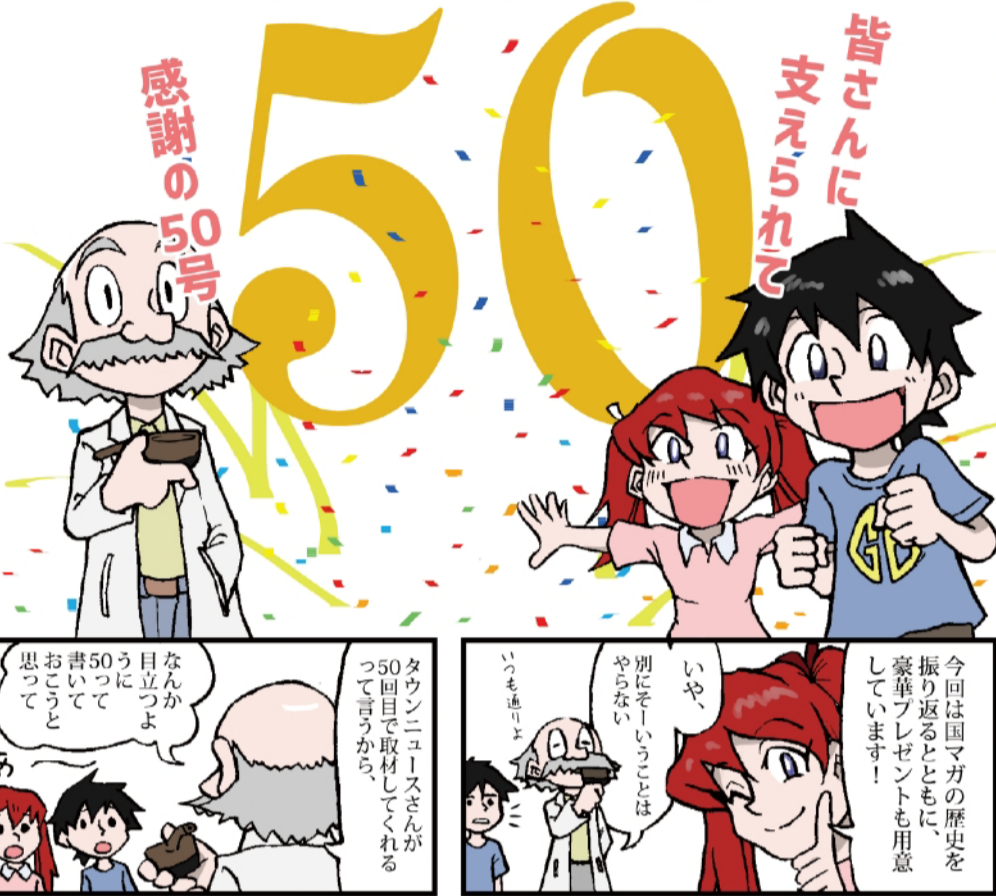


国マガ 50

KUNIMAGA



人間50年、国マガ50号。



奈良山公園の詩

公園の風景がかわらないのは町が生きているあかしだという靴を濡らし駆けていた子が自転車の手ほどきをしている。そよ風に文庫本のページが繰られ木陰のベンチは受けいれつつづくとどまるもの。去っていったものやがてかえるもの。なにもないところですよ。町の心とは言う。冬の朝日にまぼゆい白霜をふみこえ夏の真夏の緑にくらみ林立するポプラに祝福された遊歩道へ染まりかけた足をおろして

詩人、この町を詠う

この度、国マガ50号記念に、この国在住の詩人・草間小鳥子さんにこの町を題材にした詩を寄稿いただきました。併せてコメントも掲載します。「空がひろい町に住めるのは、しあわせなことです。わたしが子どもの国へ越して来た頃、まだグランジアルダンもMONTもなごみもなく、わが家だけがぼつんと突っ立っていました。からっぽの分譲地には百合が咲き、奈良の丘小学校建設予定地の野っ原には、休日の朝になると草野球の音がひびきました。いっぽん道の先にSawaのロゴがちいさく見え、高層団地そだちのわたしは、「空のひろいところだなあ」とおどろいたことを覚えています。いまはマンションも家もたくさん建ってにぎやかな町になりましたが、空のひろさは変わりませんね。見え

草間 小鳥子

新進気鋭の詩人として注目され、多数の入選実績を持つ。また、第十四回北日本児童文学賞最優秀賞と小説の世界でも活躍。2019年1月、資生堂「花椿文庫」より小詩集発行予定。こどもの国には小学生の時に移り住み、現在も家族とたくさんの猫たちと共に暮らしている。
https://note.mu/kotoriko_kusama

る景色のはんぶん以上が手の届かないものだと思うと、地上で起きたあらゆるものが、ちっぽけで、でもかけがえのないもののように感じられます。同じ町に暮らす作家の方に作品を寄稿していただけるなんて光栄なことですね。出会いを生んでくれた国マガに感謝しつつ、新たな出会いに向けて、これからも私オオキもこの国マガの活動を続けていきたいと思っています。



オオキ 長男

日本中が熱狂したサッカー・W杯を1秒も見ませんでした。サッカー嫌いというわけではなく、前回のオリンピック直前にテレビが壊れて、そのままずっと放置しているからです。次のオリンピックまでにはどうか……。

国民の悩み

相談員サリー志村

答
オススメの対策は、できるだけ暑苦しいものは見ないようにすることです。たとえば、甲子園とか。僕なんてテレビ中継で見ると暑苦しいので、ラジオで聴くことにしていますよ。あとは、個人的にはエグザイルや関連するグループの皆さんに聞ける姿を見ると、ちょっと温度が上がる感じがしますね。あつこさんも自分で気が付いていないだけで実は「暑苦しいものは周りに溢れています。探して取り除いてちよっと気分を涼しくしましょう。」

国民の悩み

相談員サリー志村

悩み
「今年の夏はめちゃくちゃ暑いので、ずっとパテいだけですが……。それです……。どうにかしたいです。17歳、女子高生」

お悩み相談募集!! 宛先: kunimaga920@gmail.com

イベントカレンダー

2018 APR	2018 MAY
8/6 フレッシュ横浜音楽コンクール	9/5 茶話会 奈良でちゃちゃ
8/10~12 セミのぬげがら調査	9/10 和太鼓教室
8/19 目指せセミとり名人	9/22 海野幹雄&新垣隆「デュオ・オリゴ」
8/19 紙芝居ライブ	9/23 住吉神社祭り
8/24 奈良山映画祭	9/23 サンマを炭火で食べる会
8/25 奈良山納涼祭	9/24 サンマを炭火で食べる会
8/26 目指せセミとり名人	
8/26 工作教室スライム作り	
8/27 こどもの国駅移動交番	

...こどもの国 ...青葉区役所・公会堂
 ...奈良地区センター ...フィリアホール
 ...その他

町の情報提供: ナカタ

祝! 50号! 2013年3月よりスタートした『国マガ』が、ついに今号で50号です。ここまで続けて来られたのも、私たちの好き勝手なものづくりを見守ってくれたこの町のお店と、読者のみなさまのおかげです。国マガ運営メンバーもいつのまにか全員30代となってしまいました。未永くご愛顧いただければ。さて、夏から初秋にかけての町のイベントを紹介していきます。8月のこどもの国はセミ祭り。セミの抜け殻から種類や生態を学べるマニアックな調査イベントや、セミの採集数を競う実力至上主義なバトルが開催されます。9月には秋の味覚・サンマを炭火で食べられる会も実施。こちらは8月31日必着での申込みが

祝! 50号! 2013年3月よりスタートした『国マガ』が、ついに今号で50号です。ここまで続けて来られたのも、私たちの好き勝手なものづくりを見守ってくれたこの町のお店と、読者のみなさまのおかげです。国マガ運営メンバーもいつのまにか全員30代となってしまいました。未永くご愛顧いただければ。さて、夏から初秋にかけての町のイベントを紹介していきます。8月のこどもの国はセミ祭り。セミの抜け殻から種類や生態を学べるマニアックな調査イベントや、セミの採集数を競う実力至上主義なバトルが開催されます。9月には秋の味覚・サンマを炭火で食べられる会も実施。こちらは8月31日必着での申込みが

必要な詳細はHPへ。また、8月を締めくくる納涼祭は奈良山公園で25日に開催するので、お祭りがまだの方はここでぜひ浴衣を披露して。9月に入ると10日に青葉公会堂で和太鼓教室、定員制なので気になる人はお早めに045・978・2400の青葉公会堂までご予約を。9月23日は住吉神社の秋祭り。初詣で足を運ぶ人も、ひと味違う秋の神社を体感してみたい? 9月22日のフィリアホールには、あの佐村河内守のゴーストライター・新垣隆が降臨。チェリスト・海野幹雄との圧巻のデュオに注目。これからも、国マガスタッフは変わらず51号に向けて走り続けますので、ゆるい応援お願いします!

国外ART information



水平線を臨む美術館へ
夏本番! 折角なので海も美術も堪能しませんか。観音崎の傍にある横須賀美術館は、東京湾の美しい水平線と向き合うように建てられています。半地下構造の、背後の山々に溶け込むように作られた建物の屋上は広場にもなっています。そこでゆっくりと時間を過ごすもよし、地下に降りて作品と対峙するもよし。9月まで動物彫刻を制作する三沢厚彦の展覧会を開催中。ユニークな動物たちの姿は、大人子供問わず楽しめるのでは? 鑑賞後はオープンテラスのレストランもおすすめです!

川尻 雄
AOMORI NI YUMINA
YAKUSHOJI NI THYMINA
横須賀美術館
住所: 青森県青森市
開館日: 9月2日(日)
休館日: 9月17日(土)
観覧料: 10時~18時
入館料: 900円(一般)

ムラウチミレイ 美術館スタッフ
国マガ50号! おめでとうございます! 50号も出すことを可能にしたこの小さな街と執筆陣の底力を感じます。すごいです。



加藤ジュンスケ(表紙を描いた人) イラストレーター
国マガも50号を迎えました。もう6~7年もやっていると、初めて国マガを手にとったあの小学生は今や高校生とか、へたすると大学生になっているんですよ。

おぎぬまX
今後の活動情報！

『国マガ』の創刊以来、連載を続けてきてくれたおぎぬまX。50号の今号で『国マガ』を卒業します。ありがとう、おぎぬまX！今後のおぎぬまXの活動は以下をチェック！

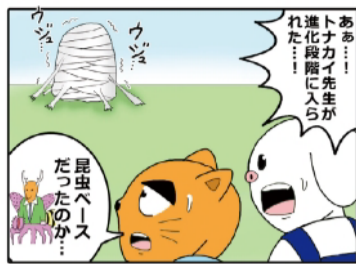
■笑うメディアクレイジー

『おぎぬまX 4コマ空間』連載中！毎週水曜日18時ごろに最新話を更新しています！

<https://curazy.com/manga/49>

■イベント出演情報

8月19日・コミティア125
「大4コマバトル」を企画！



おわり



おぎぬまX 4コマバトル

今後の活動の詳細やご連絡はツイッターをご確認くださいませ。Twitterアカウント・@oginuma_x

コラム



サリー志村

リメンバー・ミー

わけあって6月に引越しをした。こどもの国駅界隈から離れたのだ。地元読者のみんなすまない。でも魂はおいてきた。三浦のカズじゃないけど。

今度の家はこどもの国から一時間ほど離れたところにある川崎市川崎区。ここは祖父母が住んでいた家だった。この家にはじいさんの仏壇がある。ニュータウンの建売住宅で育った人間にとって仏壇がある家に住むというのは新鮮なことで、引越す前、毎日線香をあげ、故人を想うのもなんつーが「ていねいな暮らし」的な？これがナウ？という気持ちであった。が、しかし。実際に引越してきてみ

ると一人暮らしの自由で遊び惚け、まったく死んだじいさんのことなんて考えないのである。

なんていう不孝者か。この前観たピクサーのアニメ映画『リメンバー・ミー』では、主人公の曾祖父の母（つまり四代前）までの遺影を祭壇に飾り、その教えを毎日思い出していたというのに。先祖を大切する彼らを見習わなくてはならない。

ただこの作品は、死んだ人を思い出すことの限界も描いている。というのは、彼らは先祖を思い出すというわけではなく、写真なり歌なりのブツを残した人だけまでなのだ。主題歌にこんな一節が。「思い出してくれる？このギターの泣き

声が聴こえるたび／こんな方法しか君と一緒にいるすべを知らないんだ」。そう、よほどの想いが無い限り、何かきっかけがないと死んだ人のことを無条件には思い出せないのだ。

川崎の家の庭にはビワの木があり、毎年なかなか立派な実をつける。これは死んだじいさんが植えたものであり、今年も収穫することができた。どうしてとくに世話をしないのに実をつけるのか……？と不思議がりながら、スーパーで買うと7個入りで500円ぐらいのものを贅沢にも一気に食べた。うん、毎年、このビワがなり、食べる時だけはじいさんのことを考えようと思う。というか、それぐらいで十分だよ、おじいさん。



サリー志村 編集者

引越しました。いまのところ、ホームシックになっていません。

この町の記憶

安原まひろ



日差し

「こどもの国とかウケるわ、おとなの国もあんの？ てかおとなの国ってなんかエロくね？」

「はしゃいだ声で看板を指さしているコウキの声を聞きながら、僕は炎天下の疲労でふらふらになっていた。」

中学校最初の夏休みの初日、コウキから電話が来た。「なんかさ、すげえ遠くに行ってみええ？」と。部活に入らなかつた僕は、夏休みっぽいことしてみたいと思っただけで、行ける所まで行くってどうよ。とりあえず海、目指してみようぜ！とコウキは言った。

待ち合わせて、コウキの持ってきた地図で道を確認しながら僕たちはとにかく海を目指して南に向かった。

「湘南とか水着の女とかいっぱいいるぜ！ 同い年の女子とエロいことになるかもしれねーな！」というコウキに対して、クールさを装った言葉を返しながらも、マジでそんなことになったらこの夏休みは最高だと、もちろん思っていた。

しかし、僕たちの住む川越から海は遠かった。多摩川を超えたあたりから、暑さで体力がつき始めた。先輩とうまくいかなかった退部したらしいが、コウキは元陸上部で体力があり、終始元気に喋り続けていた。僕はというと、ペダルを漕ぐのと返事するのやっとなら。僕はコウキに遅れを取り始め、「こどもの国」にたどり着いた時、僕の体力は限界だった。

「こどもの国、プールあるじゃん。おまえキツそうだし、

海まで行ったら夜だし、ここで水着の女見ようぜ！」とコウキは言ったが、プールの最終入場時刻はとくに過ぎていた。

近くのコピーでガリガリ君を買い、木陰のアスファルトの上で一緒に食べた。「だめだなあ、やっぱり自転車じゃ。早くバイクとか車の免許とりてー。っていうか、遠くいきよー。外人とつきあいてー」とコウキは話し続けていた。僕は、こんな誘いに乗るんじゃないかと、思いながら、ガリガリ君を口の中で転がしていった。結局僕は、そこから引き返し、それぞれの家に帰りついたのは日付が変わる頃だった。コウキはそれでも帰路、ずっと喋り続けていた。

コウキと会ったのはそれが最後だった。夏休み明け、同じ小学校から進学したクラスメイトから、コウキが遠くに引越したことを聞かされた。そして、コウキが進学先の中学校でいじめを受けていたことも知った。

社会人になった今でも、夏の朝の通勤時に自転車を漕ぐ中学生とすれ違つと、「こどもの国」という、未だに印象に残る名前と共に、コウキのことを思い出す。もし、あの時海まで行っていたら、コウキと僕の関係はもう少し続いていたのだろうか、なんてことを考えながら汗をぬぐう。東京の夏は、あの頃よりもっと暑くなった。こういう日は、コウキも思い出したりするのだろうか、あの頃を。いや、もっと遠くにいるのかもしれない。いてほしいじゃないか、彼は、あの夏を忘れるくらいに遠くに。



安原まひろ 美術系出版社のウェブ担当

まさかこんなに続くとは思わなかった国マガですが、初期から快く置いてくれた素晴らしいお店への感謝と、顎であしらわれたお店への恨みは忘れません！

国マガ配布店

- 【こどもの国地区】 ●GRIVE (コーヒー) ●こどもの国歯科 (歯科) ●シュタットシンケンかくれが工房 (ハム / ソーセージ)
- スリーエフ・こどもの国駅前店 (コンビニ) ●なごみ (そば)
- 奈良地区センター ●炭火焼肉はち (焼肉) ●Bacchu (s イタリアン&バー) ●MONT (パン) ●こどもの国のくすり屋さん (薬屋) 【奈良北地区】 ●かつ元 (とんかつ) ●Coonie (パン)
- 昭和書房 (本/文具) ●街の家族 (コミュニティハウス) ●felicea (美容室) 【青葉台地区】 ●KOGA (美容室) ●COPPET (パン) ●SoulCocktail's AOBADA (バー) ●246 (ラーメン)

国マガからのおねがい

今号でなんと50号です。創刊が5年前の2013年。最初はマンガ家志望、ライター志望のくすぶった人間たちの発表の場でした。そこから読んでくれる皆さんのお陰で、当初の目標からある程度のやりたいことが達成されました。ありがとうございます。そして、また個々の環境が変わってまた目標も変わってきたことも感じています。今回で、おぎぬまXの連載が終了。彼は読者のみなさまに愛されていたキャラクターで誠に残念ですが、4コマのネタの面白さを競う「4コマバトル」を極めるためにまた別なステージで活動していきます。これからも応援してくださいね。編集部もまた改めて「国マガ」をどういう場にするのかを定義していきたいと思ひます。まだまだ続きますよ。どうぞ見てってください。最後に、業務連絡です。電子版はなかなか手が回らないので、いったんお休みといたします。ごめんなさい。もうちょっと余裕ができてからやっていきたいと思ひます。

おしらせ

- ホームページ！ すべての情報はここで！ URL: <https://kunimaga.jimdo.com>
- 次号の国マガの配布日はだいたい10月5日です。

こどもの国系情報誌「国マガ」国マガ Vol.50

発行日 2018年8月5日
 発行人 サリー志村
 デザイン ヨシムキ
 顔イラスト 柏木翔子 ムラウチミレイ
 連絡先 kunimaga920@gmail.com
 Facebook <https://www.facebook.com/kunimaga/>